



5.ジェンダー平等を実現しよう

地球環境に優しい「紙で作ったアートフラワー胡蝶蘭」の生産・販売を開始

—熊本地震をきっかけに誕生した女性活躍を支援するスーパーウーマンプロジェクト—

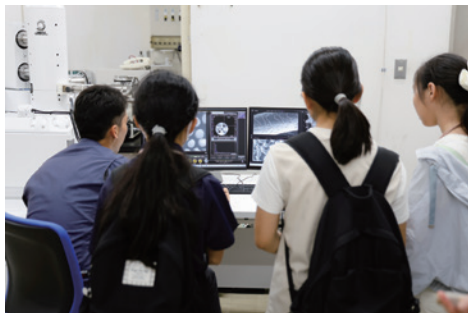
メディアデザイン研究科(KMD)の地域みらいプロジェクトとMICOHANA株式会社(<https://micohana.jp/>)は、経済産業省九州経済産業局デザイン経営ゼミを通じて2022年8月より事業化研究を続けていた、紙で作る「スーパーフラワー」を活用し、2024年度に「アートフラワー胡蝶蘭」を商品化しました。日本の折り紙の技術を活かし、高級紙を使った花を一つひとつ手作りで作り上げることで、品質が長期間に変わらない地球環境に優しい贈り花を提供するプロジェクトです。リサイクル・リユースが可能な供給体制の構築により、生花の売れ残りや規格外品の廃棄問題を解決し、環境や社会に優しい循環を実現します。また、在宅の隙間時間を活用した生産を可能にすることで、子育て中の主婦など外出困難な方の就労機会創出にもつながります。普及啓発に向けて、この取り組みに賛同しプロジェクトに参画している株式会社キイストン(<https://www.keys.ne.jp/>)の飲食店のネットワークを活用し、開店お祝いなどでの活用を通じてさらなる改善と需要の拡大に向けた実証を開始しました。

全国10万人以上の中高生女子の進路選択を応援!Girls Meet STEM Collegeに参画

理工学部は、公益財団法人山田進太郎D&I財団による、中高生女子向けにSTEM(Science, Technology, Engineering and Mathematics)領域の学生生活が体験できるプログラム「Girls Meet STEM College」に2024年6月より参加しています。

2024年8月30日、「Girls Meet STEM College」の協力を得て、中高生女子を対象にしたイベント“Girls Science Club 2024”を実施しました。実験や最近の研究の紹介のほか、メディアセンター、中央試験所の実験施設および量子コンピューティングセンターを中心に巡るキャンパスツアーと、在学生と教員に大学生活や受験勉強、学門[※]の選び方、留学などを自由に相談できる座談会を行いました。

※ 「学門」とは、“学びの庭への入口”という意味を含めた言葉です。理工学部では、入試の時点で5つの「学門」(学門A:物理・電気・機械分野、学門B:電気・情報分野、学門C:情報・数学・データサイエンス分野、学門D:機械・システム分野、学門E:化学・生命分野)のいずれかを選択します。



中央試験所の見学



座談会の様子

授乳・搾乳・女性休憩室の整備

慶應義塾では、仕事と生活の調和の環境づくり、CARE(Consultation, Assistance, and Resources for Employees:悩みと仕事の両立支援プログラム)、Breezeプロジェクト(女性のからだ支援プログラム)およびKIDS(Keio Infant Daycare Support:育児支援プログラム)の一環として、各キャンパスにおいて授乳・搾乳を必要とする方、妊娠期・出産後・月経期・女性特有の病気・症状などで一時的な休養を必要とする教職員・学生のための環境整備を進めています。2024年度は新たに日吉キャンパスに同スペースを設置しました。



三田キャンパス休憩室



日吉キャンパス休憩室

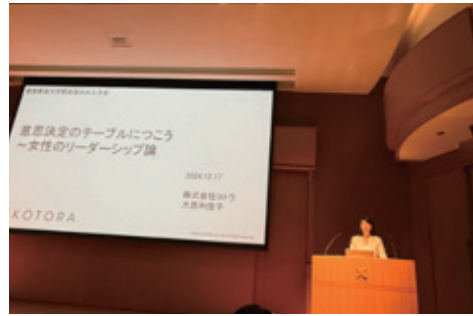
「女性の活躍を聞くシリーズ」講演会開催

経済学部では、専門課程における女性教員比率向上および女子学生比率向上を目的として、2021年秋に経済学部女性教員比率タスクフォースを組成し、講演会の企画などを通じて、協生環境改善の角度から教員の意識向上を図っています。2024年度は、「女性の活躍を聞くシリーズ」と題した講演会を開催しました。

2024年6月17日の第1回講演会「Finland and Equality」では、駐日フィンランド大使館書記官であるニーナ・ヴァイサネン氏を迎え、データを基に、ジェンダー平等先進国であるフィンランドの経験やフィンランド流の価値観、生き方について説明がなされました。また、多様性を重んじた組織、社会を実現していくためのロールモデルの重要性や、ジェンダー平等度が高く、幸福度ランキング、SDGsの達成度などでも常に上位のフィンランドでさえも出生率が1.3と伸び悩んでいる事実など、現在進行形の課題についても話が及びました。2024年12月17日の第2回講演会「意思決定のテーブルにつこう。女性のリーダーシップ論」では、株式会社コトラ代表取締役の大西利佳子氏にご講演いただきました。大西氏は、これまでのキャリアや起業家としての経験を基に、「意思決定」「リーダーシップ」「社会貢献」などについて語られました。本講演会は、学生や社会人にとって、キャリア形成やリーダーシップを発揮するための具体的なヒントを得る貴重な機会となりました。



第1回講演会



第2回講演会

アンコンシャス・バイアス研修会の実施

2024年7月22日と8月2日、塾長・常任理事等の慶應義塾執行部および学部長・研究科委員長・一貫教育校長・関係部門長等の協生環境推進室推進委員を対象に、第2回アンコンシャス・バイアス研修会（＝無意識の偏見をなくすための研修会）を実施しました。今回は、大空裕康弁護士（大空・山村法律事務所、第一東京弁護士会所属）を講師に迎え、無意識の言動などからハラスメントや訴訟の事案になってしまった具体的な事例を用いながら、どのようなことに気を配ることが必要なかなどについて学びました。



アンコンシャス・バイアス研修会の様子

女性のからだ支援～Breezeプロジェクト～生理用品の無償配付

慶應義塾では、女性のからだ支援「Breezeプロジェクト」の一環として、経済状況による生活不安を抱える女子学生を対象に、生理用品の無償配付を実施しています。2024年度は、4月、7月、10月、1月の4回募集を行いました。また、生理用ナプキン無料提供ディスペンサーOiTr (<https://www.diversity.keio.ac.jp/breeze/breeze.html>)をすべてのキャンパスに導入しています。女子学生の生理に伴う心やからだの負担軽減とジェンダーギャップの是正に寄与し、快適な大学生活を送るための一助となることを目指しています。並行して専門医によるからだセミナーの開催や保健管理センターに「女性のからだ・男性のからだ相談室」を開設しています。

塾生会議プロジェクトの活動

塾生会議の提言を踏まえて提出された企画は、学内の審査委員会で審議され、採択されたものがプロジェクトとして稼働します。

みんなで子育てプロジェクト

学生の子育てに対する不安解消や、子育てを視野に入れたキャリアプラン形成を後押しし、日本では依然として問題となっている、育児による離職率の高さの解消を目指すプロジェクトです。

2025年2月26日、日吉キャンパスにて、パネルディスカッションイベント「人生の先輩に聞いてみよう 教えて!子育てとキャリアのこと」を開催し、5名の登壇者より、育児と仕事を両立する上での悩みや職場・家庭での取り組みで良かったことなど、将来に向けてのアドバイスを受けました。また、2025年3月、実際に子育てを体験する試みとして、ベネッセ日吉保育園 (https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/facilities/area_kanagawa/yokohama/h-hiyoshi/) での全3回の保育体験を企画し、学生11名が参加しました。



パネルディスカッションの様子

伊藤塾長らがAPRU学長会議、APWiLサミットに参加

2024年6月24日～26日、ニュージーランド・オークランドで開催されたAPRU(The Association of Pacific Rim Universities:環太平洋大学協会)第28回年次学長会議に、伊藤塾長らが参加し、“Oceans: The World’s Challenges Divide Us, the Ocean Currents Connect Us”をテーマに、気候変動や海洋環境・生物多様性保全などについて議論を重ねました。年次学長会議に先がけて6月23日に開催されたAPWiL(Asia Pacific Women in Leadership)In-Person Summitのパネルディスカッション“The Role of University Leadership in Advancing Gender Equity”に登壇した伊藤塾長は、ジェンダー平等に関する取り組みを紹介し、組織のリーダーが果たすべき役割について議論を交わしました。キーノートセッション“A Conversation on Driving Change Towards Gender Equality”に登壇した奥田常任理事は、社会とともに変化するダイバーシティ&エクイティ&インクルージョン(DEI)の今後のあり方について意見を交換しました。



登壇する奥田常任理事
写真提供:APRU